



冬季一時金闘争はじまる 東北地方で有額回答、妥結進む

18 冬季一時金闘争が始まった。全港湾の各地方・支部は、秋年末闘争方針に基づき、要求額については「①昨年同季の率・額以上を地方毎に決定。②要求提出は11月上旬とし地方毎におこなう。③解決目標は11月下旬。④各地方は中央と連携をはかりながらストライキを含む有効な戦術を行使してたたかう」、到達闘争及び労働条件の引き上げについては「労働時間短縮、定年延長65歳、退職者の補充、退職金引き上げ、労災企業補償の引き上げ、等々」として闘争に入った。

東北地方で有額回答、妥結進む

11月8日現在、速報分会140分会中、10分会（7%）に有額回答が示された。東北地方では集団交渉が進み、有額回答が示され、すでに妥結した分会も出ている。東北地方速報分会11分会中、10分会に有額回答が出され9分会が既に妥結しており、回答額平均は567、250円、妥結額平均は576、307円となっている。昨年の東北地方の速報分会妥結額実績599、688円には届いていないが、すでに妥結した分会が概ね昨年を上回る妥結となっていることから、最終的には昨年実績を超えていくものと思われる。

参考までに、全港湾の昨年の冬季一時金妥結額実績は485、289円（速報分会のみの妥結額実績は509、061円）であった。

交渉はこれから本格化し、回答が揃ってくるのは11月中旬から下旬頃となる見込み。要求額獲得に向けて頑張っていこう。

<地方別一覧>

2018年度 2018冬季一時金

印刷日：2018/11/08

地方名	速報分会数	回答分会数	妥結分会数	回答額平均	妥結額平均	率
北海道	7					
東北	11	10	9	567,250	576,307	2.25
日本海	8					
関東	12					
東海	14					
関西	38					
四国	13					
九州	27					
沖縄	10					
全国	140	10	9	567,250	576,307	2.25